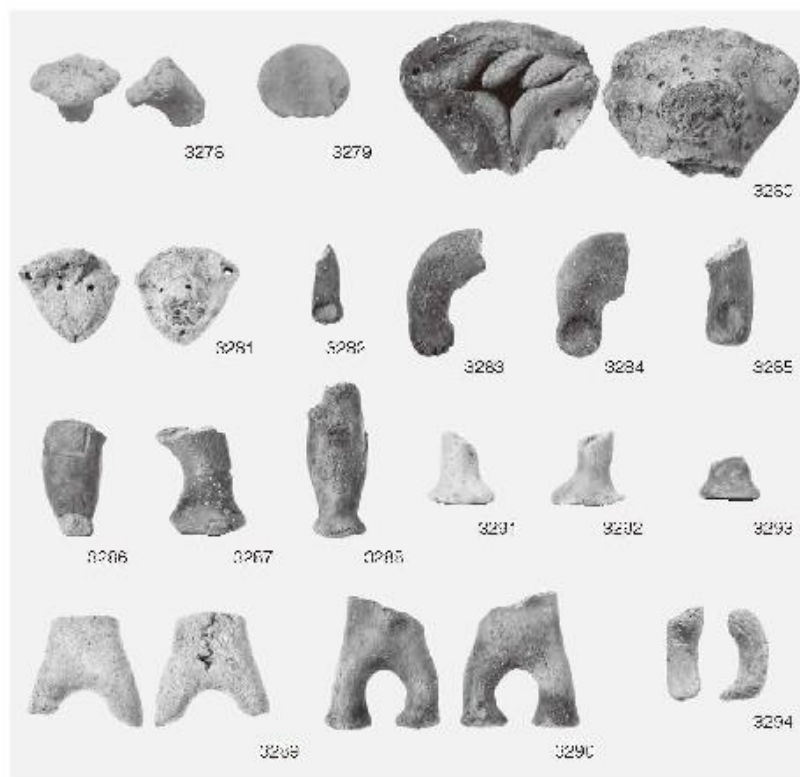


山田湾をのぞんだ縄文むら — 浜川目沢田 I 遺跡の土偶 —

浜川目沢田 I 遺跡の 土偶 (1)



縄文時代後期前葉～中葉
(約4,500～4,000年前)

浜川目沢田 I 遺跡の 後期土偶顔面



ねじり鉢巻きのような頭頂部
が特徴です。

山田湾をのぞんだ縄文むら — 浜川目沢田 | 遺跡の土偶 —

東北地方北部の
同時期の土偶（１）



相ノ沢遺跡出土
(岩手県一関市)

東北地方北部の
同時期の土偶（２）

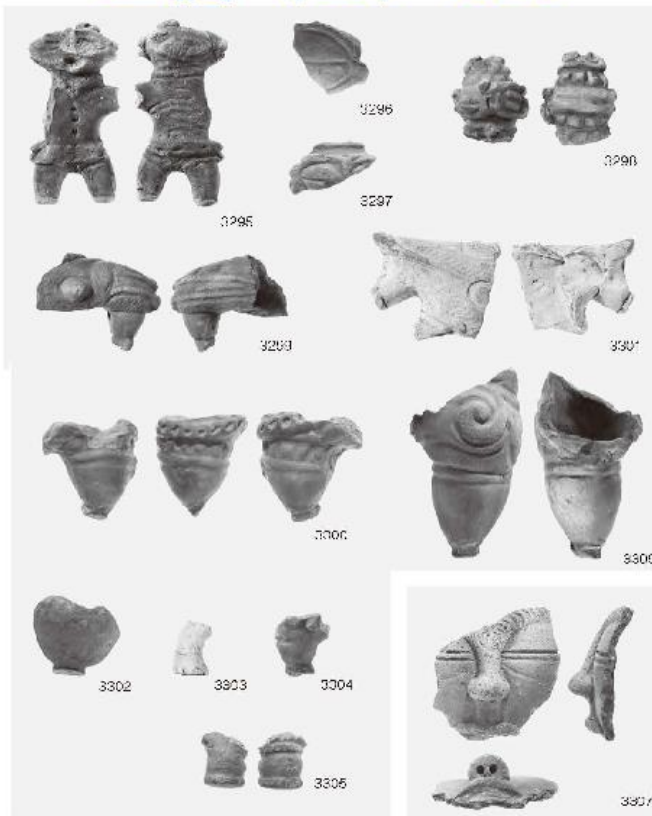


大文字遺跡出土
(岩手県奥州市)

山田湾をのぞんだ縄文むら — 浜川目沢田 I 遺跡の土偶 —

【画像出典】：栃木県立博物館『土偶の世界』展図録(2011年)

浜川目沢田 I 遺跡の 土偶（2）ほか



縄文時代晩期
(約3,500～3,000年前)

浜川目沢田 I 遺跡の 遮光器土偶（1）



顔つきは遮光器土偶の特徴を示していますが、かなり小形で中空になっていません。

“典型的な” 遮光器土偶 (盛岡市手代森遺跡出土)



遮光器土偶は、中空であること、大形であること、精巧であることが特徴です

山田湾をのぞんだ縄文むら — 浜川目沢田 I 遺跡の土偶 —

浜川目沢田 I 遺跡の
遮光器土偶 (2)



全身像ですが小形で、中空になっていません。顔はかなり崩れています。

【画像出典】：岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第689集

遮光器土偶の終末的形態
(北上市九年橋遺跡出土)



小形化し、極端な目の強調はなくなります。

【画像出典】：栃木県立博物館『土偶の世界』展図録(2011年)

山田湾をのぞんだ縄文むらー浜川目沢田 I 遺跡の人面付土器ー

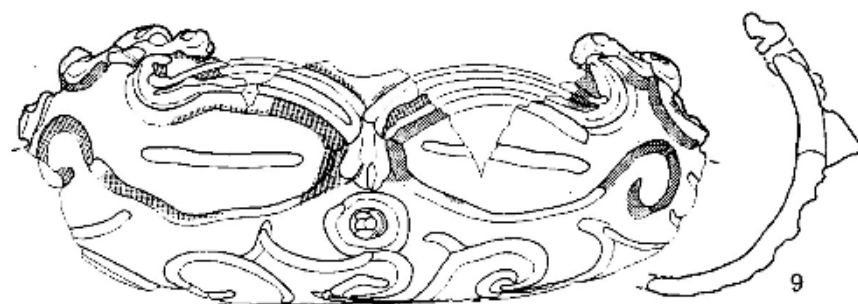
異形の人体表現 (人面付土器)



浜川目沢田 I 遺跡出土
(晩期前葉?)

【画像出典】: 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第689集

秋田県向様田 A 遺跡出土 人面付土器



鼻は貼り付けられていますが、それ以外はすべて描線で表現されています。明らかに遮光器土偶の顔面の造形ですが、大きさは左右約24cmと極めて大きく、土器に描かれた顔面と考えられます。(残念ながら写真はありません)。

【画像出典】: 秋田県教育委員会『向様田A遺跡 遺物編』(2004年)

縄文時代後期の女神たち(1) 奥州市大文字遺跡



縄文時代後期の女神たち(2) 奥州市大文字遺跡



縄文時代後期の女神たち(3) 奥州市大文字遺跡

